



●● 今月の主な内容 ●●

- 南伊豆地区1市3町合併協議会開催… 2
- 開拓姉妹都市締結30周年記念事業… 3
- 平成19年度一般会計決算報告… 4~5
- 松崎蔵づくり隊土蔵建築に着工… 6
- 交通安全ポスターコンクール… 7
- 乳幼児医療費が無料になります。… 8
- まちのできごと… 9

第9回伊豆半島太鼓フェスティバル (9/13) 松崎海岸に勇壮な太鼓の音が響き渡りました。

出演団体 (演奏順)

- 伊豆松崎牛原太鼓(松崎町)
- 五竜太鼓保存会(裾野市)
- 白隠太鼓(沼津市)
- はいばら太鼓保存会(牧之原市)
- 天城連峰太鼓(伊豆市)

南伊豆地区一市三町

合併協議会開催

第四回合併協議会開催

九月八日（月）午後一時三十分から南伊豆町中央公民館ホールで、第四回南伊豆地区一市三町合併協議会が開催されました。

報告事項として

① 新市の名称及び事務所の位置選定小委員会経過報告

八月二十日（水）に河津町役場庁舎及び河津町保健福祉防災センターを視察し、これまでの一市二町の庁舎視察結果と、二十日の視察結果を踏まえての意見交換の報告。



② 新市基本計画策定小委員会経過報告

八月二十九日（金）に第三回の小委員会を開催し、新市基本計画の素案を策定するにあたり、各市町が抱くまちづくりの方針について発表を行いました。当町は、松崎町第四次総合計画後期基本計画を昨年度策定したことから、この計画に沿って説明を行いました。今後は、各市町のまちづくり方針と、業務委託コンサルタントによる各市町のヒアリングを行い、これらの意見を基に九月末までに基本計画素案を策定することとしました。

協議事項とコン

① 一部事務組合等の取扱いについて

前回提案内容に基づいて協議が行われ、提案どおり確認されました。なかでも、西伊豆広域消防組合及び西豆衛生プラント組合については、

合併の日の前日をもって当該組合を脱退し、新市において合併の日に当該組合に加入するというところで確認されました。

県内で一つの自治体の中に、二つの消防署がある市町は、吉田町牧之原市広域施設組合（吉田町及び牧之原市）の例があります。また、し尿処理場は、東遠広域施設組合（御前崎市、菊川市、掛川市及び牧之原市）があります。

※合併対象市町以外の団体との間で共同設置する協議会、機関等及び事務の委託（火葬場に関する事務委託等）については、今後、協議を行っていくこととなっています。

② 各種事務事業の取扱い（生活保護事業）について

国の制度に基づき新市において実施することで確認されました。

提案事項では

① 各種事務事業の取扱い（電算システム）について

住民サービスの低下を招かないように、合併時に電算システムを統合するとともに、ネットワークの整備を図る。

ただし、単独処理業務システムについては、関連する事務事業の調整方針に基づき調整するというところで提案されました。

現在導入されているシステムは表のとおりで、二つのシステムが運用されています。

二つの事業者間でデータレイアウトなどが異なり互換性がなく、各市町間でのシステム整備状況、導入形態、処理内容も異なり、事務処理上の混乱や住民サービスの低下を招く恐れがあるとともに、両システムを平行運用することは経済性が悪いため、現行システムを統合し、調整することが最良の選択と判断されることから提案がなされました。

各市町の電算システムの現状

下田市	(株)日立情報システムズ
河津町	(株)TKC
南伊豆町	(株)TKC
松崎町	(株)TKC

③ 各種事務事業の取扱い（広報広聴関係事業）について

下図の通り提案され、第五

回合併協議会への継続審議となりました。

事務事業	提案内容	概要
広報誌	下田市の例により調整する	毎月第1金曜日発行、A4縦型右綴じ、縦書き12ページ（4月号のみ16ページ）表紙・裏表紙のみカラー印刷
お知らせ版	松崎町の例により調整する	毎月1日（下旬）、15日（中旬）発行A4版、両面印刷、縦型、横書き穴無し、1色刷り
市勢要覧及び市勢概要	新市において作成する	
ホームページ	新市発足の日の公開に向け調整する	
公聴事業	下田市の例により調整する	ホームページやメールで意見を受付。市役所に意見箱を設置し、広く市民の意見を聴く。

第五回合併協議会のご案内

第五回南伊豆地区一市三町合併協議会は十月八日（水）午後一時三十分から河津町役場議場において開催されます。会議は公開で誰でも傍聴ができますのでご来場ください。

【問合せ】

企画観光課（42）3964

開拓姉妹都市締結三十周年 開運栄光球を贈呈



深澤町長から帯広市長へ「開運栄光球」を贈呈

九月十二日から十四日まで、開拓姉妹都市締結三十周年の記念親善事業として、砂川敏文帯広市長を団長とした二十七人が松崎町を訪れました。松崎町に到着すると、砂川団長ら八人が役場に表敬訪問に訪れ、記念式典が行われました。

松崎町から、記念品として、「松崎蔵づくり隊」が製作した直径約四十センチの紅白の「開運栄光球」を贈呈しました。



「光る泥だんご」づくりを体験

一行は、依田勉三翁のお墓参りや、ゆかりのある大沢温泉ホテル、三余塾資料館、町内観光施設などを見学し、松崎海岸で開催された「第九回伊豆半島太鼓フェスティバル」会場では、照明やかがり火で装飾された舞台での力強い太鼓の響きを楽しみました。十月二十七日からは二泊三日の予定で、松崎町から親善訪問団二十三人が晩秋の帯広を親善訪問する予定です。

【問合せ】
企画観光課（42） 3964

地方公共団体の

財政健全化法

自治体財政の早期健全化及び財政の再生ならびに公営企業の健全化を目的に、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が昨年、公布されました。これにより、平成十九年度決算に基づく健全化判断指標を本年度から公表することが義務付けられました。

健全化指標は、普通会計を対象にした標準財政規模（注1）に対する「実質赤字比率」と、特別会計を含む全会計を対象とした「連結実質赤字比率」、普通会計の地方債の元利償還金と準元利償還金の比率を示す「実質公債費比率」（三年平均）、将来負担すべき借金等が標準的な年間収入の何年分かを表す「将来負担比率」の四つの指標と、公営企業の健全化を判断する資金不足比率です。

各指標の数値は、次のとおりですが、いずれの指標も国の定めた早期健全化基準を下回る結果となりました。

（財政健全化判断比率）

健全化指標	松崎町の比率	早期健全化基準 （注2）	財政再生基準 （注3）
実質赤字比率	—	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	—	20.0%	40.0%
実質公債費比率	8.6%	25.0%	35.0%
将来負担比率	55.9%	350.0%	なし

※「—」は黒字の意味。

【用語解説】
（注1）標準財政規模
自治体が標準的な状態の時、通常収入されるであろう経常的一般財源の規模のこと。

（公営企業に係る資金不足比率）

【問合せ】
総務課（42） 3963

特別会計名	松崎町の比率	経営健全化基準	財政再生基準
水道事業会計	—	20.0%	なし
温泉事業会計	—		
伊豆まつざき荘会計	—		
岩地集落排水事業特別会計	—		
石部集落排水事業特別会計	—		
雲見集落排水事業特別会計	—		

※「—」は黒字の意味。

【用語解説】
（注2）早期健全化基準
財政状況が悪化して、各指標が一つでもこの基準を上回ると財政健全化計画の策定など自主的な改善努力による財政健全化が求められる。

（注3）財政再生基準
財政状況が一段と悪化して各指標がこの基準以上になると国等の関与による改善が求められる。財政再生団体になると財政再生計画の策定や計画について、国の同意手続きや地方債の制限などが実施される。

平成19年度 一般会計 決算報告

総額 35億7,625万円 このように使いました。

依然として町内外の経済状況が厳しい中、行政改革を進めて経費削減に努めました。

総務費 6億3,914万円(17.9%)

- ・財政調整基金積立金……………1億249万円
- ・路線バス対策事業……………2,472万円
- ・花いっぱい運動推進事業……………1,512万円
- ・選挙関係(参議院議員、町議会議員選挙他)
……………1,396万円
- ・コミュニティ活動推進事業……………206万円
- ・ピカ市・太鼓フェスティバル補助事業
……………175万円
- ・交通安全対策事業(カーブミラー改修工事他)
……………145万円

民生費 4億9,077万円(13.7%)

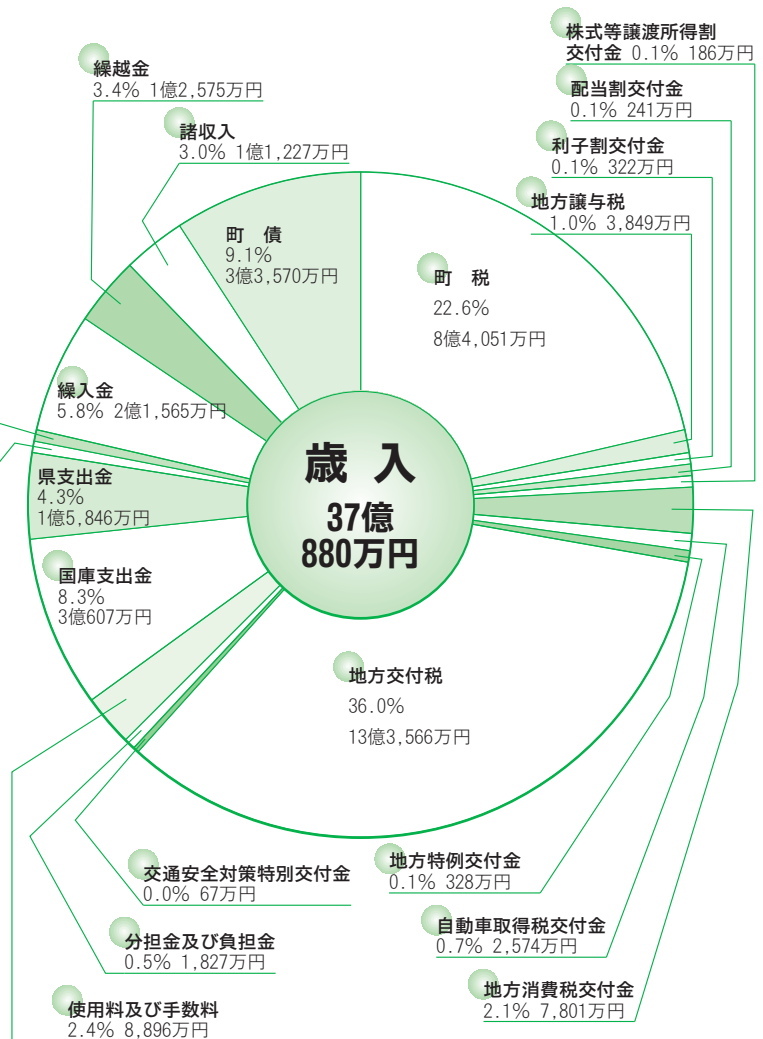
- ・介護保険特別会計繰出金……………9,773万円
- ・保育所実施委託事業……………5,718万円
- ・自立支援給付費(介護給付、訓練等給付)
……………5,332万円
- ・国民健康保険特別会計繰出金……………5,213万円
- ・重度心身障害者医療費助成事業……………1,893万円
- ・心身障害者施設支援・居宅支援事業
……………2,787万円
- ・敬老の日行事委託……………348万円
- ・福祉タクシー・寿乗車券利用助成……………223万円

衛生費 4億9,462万円(13.8%)

- ・じん芥処理事業(清掃点検業務委託他)
……………1億4,969万円
- ・老人保健特別会計繰出金……………8,761万円
- ・西豆衛生プラント組合負担金……………8,663万円
- ・老人健康対策事業(検診、機能回復訓練他)
……………2,231万円
- ・合併処理浄化槽設置補助……………1,017万円
- ・乳幼児医療費助成事業……………474万円

農林水産業費 1億5,408万円(4.3%)

- ・団体営基盤整備促進事業(南郷)……………2,016万円
- ・県単独治山事業(石部、山口、八木山)
……………1,504万円
- ・中山間地域等直接支払事業
(雲見、石部、門野)……………178万円
- ・松くい虫薬剤地上散布・予防財注入事業
……………226万円



● 歳出の状況

歳出決算額は、三十五億七千六百二十五万円(前年比六・〇%の増)で、執行率は九四・九%、不用額は一億七千七百七十四万円となりました。依然として町内外の経済状況が厳しい中、行政改革を進めて経費削減に努めてまいりましたが、目的別では教育

● 歳入の状況

歳入決算額は、三十七億八百八十万円(前年比五・九%の増)で、収入率は予算現額に対して九八・五%、調定額に対しては九七・三%、未収額は九千七百五十一万円となりました。

前年比増となった主なものは、国からの税源移譲による町税や学校耐震化に係る国庫支出金、基金繰入金で、逆に所得譲与税廃止による地方譲与税、地方交付税、寄付金等が前年比減となりました。

また町税等の自主財源比率は三十八・三%で、前年比二・〇%の減となりました。

災害復旧費 196万円(0.1%)

・林道湯沢線災害復旧工事……………196万円

公債費 4億5,396万円(12.7%)

・元金……………3億8,993万円
・利子……………6,403万円

議会費 5,222万円(1.5%)

・議員報酬、手当等

教育費 6億8,852万円(19.2%)

・松崎中学校耐震補強改修工事…3億7,944万円
・海洋センター運営事業……………2,079万円
・遠距離児童生徒通学費補助金……………698万円
・英語指導助手業務委託……………542万円
・生涯学習推進事業
（図書館運営費他）……………387万円
・青少年育成事業
（史跡めぐり駅伝大会他）……………174万円
・生徒派遣事業費補助金
（スポーツ大会参加補助）……………125万円

消防費 1億9,669万円(5.5%)

・西伊豆広域消防組合負担金 1億4,067万円
・消防団運営事業……………3,294万円
・消防施設整備事業(消火栓改良移設他)
……………1,124万円
・災害対策事業(備蓄食糧購入、
防災倉庫建替他)…854万円
・賀茂支部査閲大会事業……………330万円

土木費 1億4,516万円(4.1%)

・松崎港湾整備事業負担金……………5,826万円
・道路維持事業(町道舗装補修他)…1,888万円
・急傾斜地崩壊対策事業(岩地、石部、大沢)
……………1,395万円
・河川維持事業(河川改修土砂除去)…846万円

歳出
35億
7,625万円

平成19年度 一般会計決算性質別歳出内訳表

性質別	決算額	比率
人件費	8億4,968万円	23.8%
物件費	5億9,834万円	16.7%
維持補修費	2,750万円	0.7%
扶助費	2億1,948万円	6.1%
補助費等	4億3,550万円	12.2%
公債費	4億5,396万円	12.7%
積立金	1億 293万円	2.9%
投資及び出資金貸付金	280万円	0.1%
繰出金	2億4,583万円	6.9%
普通建設事業費	6億3,828万円	17.8%
災害復旧費	195万円	0.1%
合計	35億7,625万円	100.0%

商工費 2億5,913万円(7.2%)

・伊豆文邸周辺整備工事……………1,146万円
・長者ヶ原遊歩道整備工事……………1,002万円
・鏡絵の町づくり推進事業……………237万円
・大沢プール解体工事……………1,016万円

費、商工費、消防費、民生費等が前年比増となりました。性質別に見ますと、扶助費は、社会保障費の増により前年比六・八％の増、公債費は、元金返済が進んだことにより〇・八％の減となりました。

また社会資本の整備に要する投資的経費は、普通建設事業費が松崎中学校耐震補強改修事業などの事業費増のため前年比百六・四％と大幅増となりましたが、逆に災害復旧事業費は、災害事業の減により、九十四・八％の減となりました。

その他、維持修繕費は、道路や林道の修繕等のため五五・八％の増、補助費は、工事が終了した西豆衛生プラント組合負担金の減や伊豆つくし学園負担金の終了などにより前年比十三・四％の減となり、繰出金は、介護保険及び老人保健特別会計の繰出分の増により、前年比四・六％の増、積立金は、財政調整基金に一億二百四十九万円を積立てました。

【問合せ】

総務課（42） 3963

いつまでも
お元気で

敬老の日



峰公民館で（峰区）



会場へは人力車で（江奈地区）

今年度、満七十五歳以上になられる方千六百九人を対象に九月十三日から十七日にかけて町内二十八会場で敬老会が行われました。

東区では、日帰りのバス旅行を行い、その他の会場では、子供会や女性会などの趣向を凝らした催しが行われ、参加した皆さんは楽しいひとときを過ごされました。

また、人力車伊豆松崎組では、敬老会の思い出づくりのために、十四日と十五日の二日間、七十七歳から八十九歳までの希望者八人を人力車で会場までお送りしました。

今年度に喜寿（七十七歳）を迎えられる方は百四十二人、米寿（八十八歳）が五十四人、白寿（九十九歳）が三人、百歳となる方が四人います。

今年度百歳になる方たちに加え、現在、百二歳を最高齢として、百歳を超えている方が三人います。

伊豆の長八美術館前に 松崎蔵つくり隊による 土蔵建築着工

「松崎蔵つくり隊」とは？

松崎町では、現在約二百棟のなまこ壁の建物があります。が、老朽化や家の建て替えなどにより年々その数が少なくなっています。

また、本格的な土蔵づくりの建物は七十年ほど前に施工されて以来実施されておらず、現在の左官職人でも土蔵建築の全工程を経験する機会はありませんでした。

こうした中、町づくりの地域資源であるなまこ壁の重要性、価値を再認識し、将来に向けて保存活動を展開しようとして平成十六年四月に観光関係者、建築関係者、定年退職された会社員や教育関係者、公務員などさまざまな職種の人たち二十人で「松崎蔵つくり隊」を結成しました。

松崎蔵つくり隊では、これまで若科重文まつりでの蔵巡りや長八まつりでの土壁・漆

喰壁塗り体験、伊豆の長八美術館での光る泥団子づくり体験、静岡県知事や帯広市へ贈呈した直径四十センチもある「開運栄光球」の製作などを行ってきました。

また、平成十七年度には、町が寄贈を受けた伊豆文邸の壊れたなまこ壁の修復も行いました。



伊豆文邸での壁修復作業

土蔵建築着工

平成二十年度から二カ年の継続事業としてなまこ壁技術

伝承事業の補助金を活用し、伊豆の長八美術館前の町有地に高さ約四呎、横幅三・四呎、奥行き二・六呎のなまこ壁の土蔵「松崎夢の蔵」（仮称）づくりに着手しました。

なまこ壁の土蔵を新築することにより、その歴史的な価値を広く認識していただくとともに、伝統技術の掘り起こしと継承を図り「左官のまち松崎町」を広くアピールしていく契機とすることを目的としています。

作業は、隊員を中心にボランティアと左官職人や大工が協働で取り組み、材料についても、古民家の瓦の再利用や間伐材の活用により、経費を抑える計画となっています。



土蔵完成予想図

【問合せ】

企画観光課（42） 3964

交通安全ポスターコンクール

小・中学生の夏休み課題として募集した交通安全ポスターコンクールの審査会が九月八日(月)、環境センター文化ホールで行われました。

このコンクールは、交通安全ポスターを作製することにより、家族ぐるみで交通安全意識を高めてもらうことを目的に開催されています。

今回は、四百八十六点の応募があり、町長、教育長、警察署長、各学校の美術担当教諭らが審査にあたりました。各部門の入賞者は次の通りです。

小学校低学年(一・二年)の部
 最優秀 佐藤碧海(松小二年)
 優秀 稲葉海渡(松小一年)
 関真梨那(松小一年)
 佳作 大場洋輔(松小一年)
 山本莉久(松小一年)
 石田杏果(松小一年)

小学校中学年(三・四年)の部
 最優秀 堤 勇史(松小四年)
 優秀 野木沼友俐(中小四年)
 馬場裕太郎(中小四年)
 佳作 指出 遼(松小三年)
 川田 昇(松小四年)
 松本文典(中小三年)

小学校高学年(五・六年)の部
 最優秀 鈴木唯加(中小六年)
 優秀 高木大成(松小五年)
 稲葉詩乃(中小六年)
 佳作 船津 彩(中小五年)
 稲葉日向子(松小五年)
 荻野和斗(松小五年)

中学生の部
 最優秀 稲葉 唯(二年)
 優秀 小嶋翔太(二年)
 稲葉千佐子(二年)
 土屋麻枝里(二年)
 石井聡志(二年)
 鈴木愛海(二年)
 (敬称略)



小学校低学年の部



最優秀
松崎小2年
佐藤碧海さん



【評】絵がわかりやすく、字がかわいらしい。

小学校中学年の部



最優秀
松崎小4年
堤 勇史くん



【評】斬新で、インパクトがある。

小学校高学年の部



最優秀
中川小6年
鈴木唯加さん



【評】改正道路交通法を良く理解している。

中学生の部



最優秀
松崎中1年
稲葉 唯さん



【評】構図が工夫されておりユニークで良い。

交通安全を誓う大会

交通安全協会松崎支部主催の交通安全を誓う大会が九月二十二日(月)、外部の交通安全誓いの塔前の広場で行われました。

この大会は、毎年秋の交通安全運動に合わせ開かれていくもので、西豆二町の関係者約六十人が出席しました。

会場では、交通事故死亡者への献花や交通安全誓いの宣誓などが行われ、交通安全への認識を新たにしました。

また、関東管区警察局長と関東交通安全協会連合会長の連名表彰を受賞した交通安全協会松崎支部に対し、表彰の伝達が行われました。



栄えある叙勲

旭日單光章（高齢者叙勲） 関 知平さん（宮内）

元町議会議員の関 知平さん（八十八歳）が、旭日單光章（高齢者叙勲）を受章し、九月十九日に伝達を受けました。

関さんは、昭和四十六年四月から三期十二年にわたって町議会議員として活躍され、地方自治の発展に貢献されました。



乳幼児医療費が無料になります。

これまで、就学前のお子さんの医療費は、通院一回五〇〇円、入院一日五〇〇円の自己負担がありました。が、十月一日から無料になります。

対象者の範囲は次の全てに該当する方です。

- ・乳幼児とともに保護者の住民票がある。
- ・乳幼児が保護者の医療保険の被扶養者となっている。
- ・所得制限あり。（児童手当で

の受給資格と同等）ただし第三子以降は所得制限なし。

すでに対象者の保護者には通知済みで、九月末までに『乳幼児医療費受給者証』を交換していただいています。

まだ手続きがお済みでない保護者の方は、至急健康福祉課で申請して下さい。

平成十九年度に町が負担した乳幼児医療費は、入院九件、通院四千件、費用を合計すると約五百万円、一人平均約一万八千三百円でした。

【問合せ】
健康福祉課（42） 3966

地区対抗 野球大会

八月二十六日に開幕した第四十二回松崎町地区対抗野球大会は、九チームが参加し、総合グラウンドで熱戦が繰り広げられました。

大会は三チーム毎のリーグ戦形式で行われ、各リーグの勝利チームにて決勝リーグが行われました。

九月十二日に最終戦が行われ、攻守ともに優れていた中区・江奈四チームが見事優勝しました。

- チーム成績は次の通りです。
- 優勝 中区・江奈四区
 - 準優勝 石部区
 - 三位 櫻田区



優勝した中区・江奈4区チーム

松崎文芸

— 短歌 —

猫よりはましとほめられ泥んこになりて
植ゑたることもまぼろし
平馬文枝

小粒なれどもぎたての杵杷を供へたり
五十年忌をすませし舅に
中村宣子

野仏の道を歩むにおだやかに
在す面は祈りをさそふ
山本しづ子

竹行李の中より出て来し絆纏はんとんに
母の温もりの伝はりてくる
高橋浪子

大きな夕日がわれの愚痴一つを
のみこみてくれる水平線に
端山さち枝

恰好よく生きようなどは思はねど
生かされてゐる健やかにして
飯野ふさ

此の老いし米寿となりて健やかに
眼鏡もいらざ耳も聞こゆる
坂倉のぶ

イベント・催し紹介

雲見温泉海賊料理まつり

【日時】10月12日（日）
午前9時から

【場所】雲見海岸

【内容】戦国時代に北条氏へ船や鯨を献上したという故事にちなみ、鯨に見立てた約120kgのカジキマグロの献上儀式が行われます。献上されたカジキマグロは、刺身として無料で振舞われます。



まちのびろいっく

総合防災訓練

九月一日(月)、東海地震を想定した総合防災訓練が町内各会場で行われました。

今年、三十五地区で約三千六百人が参加し各自自主防組織を中心とした消火、救護訓練などが行われました。

総合グラウンドと松崎港の二会場では、自衛隊のヘリコプターや装甲車による負傷者搬送訓練や応急救護訓練が行われました。



第十三回 海のピカ市

九月七日(日)、第十三回みなどみんなど海のピカ市が松崎港周辺で行われました。

今年、「エコ(環境保護)」をテーマに商工会青年部が製作した竹炭や環境浄化材を来場者に無料配布しました。

会場では、飲食店や雑貨など約七十店が出店し、バンド演奏やヨット体験乗船など多彩な催しが行われ、多くの来場者で賑わいました。



第九回 伊豆半島 太鼓フェスティバル

九月十三日(土)、第九回伊豆半島太鼓フェスティバルが松崎海岸の特設ステージで行われました。

第一回から毎年出演していただいている伊豆松崎牛原太鼓と天城連峰太鼓をはじめ、県内で活動している五団体が出演しました。

竹万灯とかがり火で装飾された舞台にて、力強い太鼓の演奏が披露されました。



開拓姉妹都市締結三十周年

九月十二日から十四日まで、北海道帯広市から開拓姉妹都市締結三十周年を記念して、砂川帯広市長を団長とした二十七人の訪問団が来町しました。

松崎町到着後に、訪問団役員が表敬訪問に訪れ、お互いあいさつを交わした後、松崎町から記念品として、直径約四十センチの光る泥だんごを贈呈しました。

この光る泥だんごは、石川静岡県知事より、紅白で縁起が良く、二酸化炭素を吸収する機能を持つ漆喰が表面に塗られていることから「開運栄光球(エゴだま)」と命名されたことを説明すると、訪問団の皆さまも喜んでくれたようでした。

そして、市長のお話の中で「帯広駅前に観光交流館を建設したので、そこに展示し、松崎町をアピールします。」とのこと

でした。

翌十三日の夕方からは、伊豆半島太鼓フェスティバルを見学、三時間にわたる参加団体の演奏であったが、最後まで堪能されました。

「海と夕映えをバックにしたこの舞台は素晴らしい。この様なシチュエーションの中、出演者も多めに意気が上がるのでは。全国的な太鼓イベントとして、ぜひ発展させてほしい。素晴らしい。」と、帯広市長は話され、満足してお帰りになつた次第です。

町長室からこんにちは ⑧2

松崎町長

深澤 進



21世紀 松崎町三つの実践運動「あいさつ・返事・後しまつ」

町の人口と世帯

(平成20年8月31日現在)
()内は前月比

総人口	8,202人	(- 4人)
男	3,893人	(- 6人)
女	4,309人	(+ 2人)
世帯数	3,148戸	(+ 1戸)
転入	16人	転出 16人
出生	3人	死亡 7人

町の交通事故

平成20年8月31日現在
()内は前年同月比

人身事故	1件	(- 2)
物損事故	22件	(+ 2)
死者	0人	(± 0)
傷者	1人	(- 2)

戸籍だより (8月届出分)

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
江奈2	高柳由之	86	日乃子
道部	齊藤幸治	87	齊藤一幸
道部	山本よね子	90	明美
西区	川崎八重子	96	壽
宮内	渡邊 勇	88	かよ

おめでとうございます(出生)

地区	氏名	性別	保護者
東区	遥香	女	杉浦良一
金沢	ひじり聖	男	松本佳人
中区	璃美	女	佐々木和則

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

保健師だより

乳がん検診を受けましょう

十月から、マンモグラフィによる乳がん検診が始まります。検診では、問診で家族歴や既往歴、月経及び妊娠などに関する事項、乳房の状態等をお尋ねします。その後検診車に入って、乳房専用のX線撮影機で乳房をプラスチックの板に圧迫してはさみ、上下左右の二方向から撮影し乳房の全体像を写します。乳房をはさむので、少し痛みを感じることもあります。特に月経前等の乳腺の張っている時期に当たると痛いようです。乳房の大小にかかわらず、検査ができます。とても精密なので、二年に一回の検診でも効果があるとされています。近年の乳がんの治療は、乳房全体を切除するよりも、早期に発見できれば部分切除や薬物療法、放射線療法などの治療を行うことで生存率が向上するとともに、乳房をできるだけ温存し、生活の質を維持できるよう配慮されています。乳がんは、早期発見、早期治療が大変重要なのです。今年度、偶数の年齢になる四十歳以上の女性が対象です。申込みが必要となります。受診を希望される方は健康福祉課(42) 3966へお電話で申し込みをしてください。

地域交流通信

松本市安曇地区から

総合防災訓練の 主会場となりました

松本市は、毎年九月一日に、主会場となる地区を移して総合防災訓練を行っています。昨年までの三年間は夜間の訓練でしたが、今年は昼間に戻して安曇小・中学校を主会場として行われました。

安曇地区には、坂巻温泉付近の山添(梓川右岸)から梓湖を経て伊那市に至る境峠―神谷断層帯の主帯があります。

今後、三十年以内の地震発生確率が全国でも二番目に高い断層帯といわれていますので、直下型地震の発生を想定した訓練を行いました。地区内は、全ての集落で高齢化が進み、道路の損壊などによって孤立した集落では、さまざまな方面で人手が足りなくなることが想定されます。こうしたことから、大野川地区と奈川地区の中学生にも避難所の設置から運営までの



訓練に参加してもらい、防災意識の高揚を図りました。また、地区住民も避難と救出搬送訓練、消防団員は中継送水訓練を行いました。

松本市には、糸魚川―静岡構造線断層帯に含まれる牛伏寺(ゴクジ)断層も存在するため、今後も震災に対する日頃からの対策が必要と感じました。

松本市安曇支所住民課

奥原 一郎